

よ こ わ ちょう
横輪町活性化委員会

キャッチフレーズ

活性化へ、ホップ、ステップ、ジャンプ！

キーワード

観光

6次産業化

定住・移住

取組概要

- 全国でもここだけに咲く「横輪桜」や地域の石垣などの景観を活かし、多種多様な主体と連携した「横輪桜まつり」や「横輪いも収穫感謝祭」等のイベントを開催
- 地域活性化の経済的持続性も念頭に、地域の特産物である「横輪いも」を利用した新商品の開発を機に、県、市、民間企業との4者により6次産業化実現のため「伊勢の横輪いも推進協議会」を設立

活動の効果

- 他団体、他地域との幅広い連携により、地域固有の「横輪桜」を核としたイベント開催での交流人口の増加及び景観、食、歴史文化等の魅力を再発見しPRすることで、移住・定住者の増加に寄与
- 地域特産物の「横輪いも」の6次産業化に向け、町内一丸の活動へと展開



「横輪桜」の風景



「横輪桜まつり」



特産の横輪いも

は ぜ 波瀬むらづくり協議会

キャッチフレーズ

限界集落から元開集落(元気で開かれた)へ～人の寄るむらづくりへ～

キ ー ワ ー ド

農林漁業体験

地産地消

女性の活躍

取 組 概 要

- 平成19年度末に廃校となった小学校を「波瀬ゆり館」と名付け、自然体験学習の拠点として有効活用、子どもたちの農山村体験プログラムを実施
- 協議会の女性部員が中心となり、大学との連携のもと地域内の遊休農地を再生、新たに「クレソン」(ハーブ)を栽培し、販売とともにレシピ開発、クレソン料理の提供等の取組に発展

活 動 の 効 果

- 子どもたちの体験学習の受け入れなど、様々な交流を通じ元気で開けた地域となり、地元の地域資源の見直しや住民の生きがいづくりにも寄与
- 遊休農地の活用による環境保全、獣害の軽減のほか、クレソンを使った料理店「はぜの風」の開店など、産地ブランド化を含め新たな可能性への挑戦
- 平成21年に「櫛田川セレブの会」(女子会)が立ち上がり、地域のイベント開催や他地域との交流により、女性が生き活きと活躍できる場の創造



体験型学習の風景



遊休農地を再生したクレソン畑



むらの人と学生の共同作業

波瀬むらづくり協議会

三重県松阪市飯高町波瀬148

TEL:0598-47-0321 FAX:0598-47-0138

お う さ つ あ ま
相 差 海 女 文 化 運 営 協 議 会

キャッチフレーズ

日本一海女が多いまち 鳥羽相 差 海 女 文 化 を 世 界 へ 発 信 ！

キ ー ワ ー ド

伝統・継承

観光

女性の活躍

取 組 概 要

- 地元の海女が信仰する神明神社「石神さん」や海女と触れ合うことができる「海女小屋相 差 か ま ど」、海女について知る「海女文化資料館」、地域の特産品の販売施設等の整備や、海の信仰を知り体験する散策コースを、商工会議所と協働して設定し、次世代へ継承すべき海女漁という地域文化をフル活用
- 施設の従業員等、運営は海女をはじめすべて女性

活 動 の 効 果

- 地域固有の文化である海女に特化した事業の継続的な取組により、テレビ、雑誌等マスコミ関係者の取材が増え発信力が向上
- ミシュランの旅行ガイドで1つ星獲得など、外国人の高い評価
- 海女の漁が行われないときなど海女の雇用・所得向上の場となり、海女減少率の鈍化に寄与。協議会としても6千万円超の売上げ



海女が信仰する神明神社



海女とふれあう体験施設



海女小屋相 差 か ま ど

相 差 海 女 文 化 運 営 協 議 会

三重県鳥羽市相 差 町1238

TEL:0599-33-7453 FAX:0599-33-6199

一般財団法人 熊野市ふるさと振興公社

キャッチフレーズ

地域資源を活用したグリーン・ツーリズム

キーワード

地域提案型

取組概要

- 新姫（かんきつ類）の産地化を進めるため、市内の耕作放棄地を活用し栽培、圃場の維持管理活動を実施
- 相模女子大学が丸山千枚田オーナーとなり、毎年農作業を行うとともに、大学の文化祭や百貨店の地域連携フェアにおいて、大学と公社の連携のもと、熊野市のPR活動を継続的に実施

活動の効果

- 耕作放棄地の解消による農業・農村の有する多面的機能の維持、大学との連携による丸山千枚田の保全や柑橘等収穫時の労働力不足の補填
- 相模女子大学の文化祭や農林水産祭イベント等関東圏において熊野市の特産品を販売等PRすることで、関東地域での熊野市の認知度が向上
- 農村の持つ食料を生産する場としての役割や多面的機能の保全など、大学生の農業体験を通じた食育教育に貢献



耕作放棄地を再生した新姫栽培



相模女子大学文化祭でのPR



相模女子大学生との柑橘収穫交流

ふるさとづくり上高尾の会

か み た か お

キャッチフレーズ

都市と農村、お互いが支え合える仕組みづくり

キーワード

農林漁業体験

6次産業化

地域コミュニティの再構築

取組概要

- 交流する都市住民を対象に、米づくりの農業体験として田植え（5月）から稲刈り（9月）、収穫祭（11月）まで「本物の農」を体感させる活動を実践
- 耕作放棄地でこんにゃく芋を栽培、地域の新たな特産品として藁灰を灰汁として利用した「藁灰こんにゃく」を商品化、販路拡大に奮闘中
- 地域コミュニティ再構築のため、都市住民との交流の中で、利便性を優先し忘れてきた大切な事や地域資源を発掘するため「ふるさとを残す」話が弾む会議を毎月開催

活動の効果

- 農業体験を通じて都市と農村の交流が定着
- 都市地域での農産物の加工販売を契機に、会議への女性参加が進み、自分たちで行動を起こす機運も高まったことで、取組活動が活性化
- 「自分たちでもできる農業」を合い言葉に、「小さな農」の仕組みづくりに着手したことで、耕作放棄地対策や移住・定住に向けた活動が進展



11月の収穫祭



商品化した藁灰こんにゃく



「ふるさとを残す」話が弾む会議

ふるさとづくり上高尾の会

三重県伊賀市高尾4363

TEL:0595-55-2514 又は 090-2184-7651